

社会福祉法人



埼玉いのちの電話

ひとりぼっちで悩まずに……048-645-4343 こどもライン048-640-6400

発行人：小川 瑞穂 編集：広報委員会
 発行所：社会福祉法人 埼玉いのちの電話
 〒337-8692 大宮郵便局私書箱第29号
 電話：048-645-4322
 FAX：048-645-4355
<http://www.sainet.or.jp/~sai-id>



いのちの電話の始まりに

～電話の前に座って～

完全な結論は何一つ
 用意されていなくてもいいのだ。
 結論を期待するのではなく、
 悲しむ人と共に悲しみ、
 喜ぶ人と共に喜ぶ者として
 相対するものではないか
 と考えている。

一つ一つがハプニングであろうし、
 一瞬一瞬が真剣勝負になるだろう。
 失敗を怖れずに前進したい。

故 坂野 保吉 氏

いのちの電話（東京）一期生
 埼玉いのちの電話設立呼びかけ人
 埼玉いのちの電話副理事長・元事務局長

いのちの電話（東京）二十年史
 「いのちの共振れ」8頁掲載
 故 坂野 保吉 氏の言葉より抜粋

あなたのご支援を必要としています。

いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。
 現在 24 時間、365 日休まず相談を受けていますが、相談員の養成、研修、電話センターの維持管理、
 広報活動費など、運営には多額の経費が必要です。
 この活動をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

振込先：郵便振替 00140-9-137380

：埼玉りそな銀行大宮支店（普通）4315510

（福）埼玉いのちの電話

事務局：社会福祉法人 埼玉いのちの電話

〒337-8692 大宮郵便局私書箱第29号 TEL 048-645-4322

～「埼玉いのちの電話」開局20周年 「これまでを振り返って」～

全国で35番目のセンターとして1991年に誕生した「埼玉いのちの電話」は、多くの方々に支えられながら24時間365日相談電話を受け続け、20周年を迎えました。今年度の広報誌では3回にわたり、いのちの電話の過去、現在、未来にスポットを当ててみることにしました。

＜相談員の募集、養成、研修＞

埼玉にいのちの電話を設立しようとした時、まず必要なのは相談員の育成でした。初めに10回の公開講座を開催し、参加者の中から相談員を希望した91名で1990年11月、8グループの研修が始まりました。

相談員の研修、選考、認定について、いのちの電話（東京）が20年間に培った資料をすべていただくことが出来ました。東京の研修委員、福山清蔵氏を中心に5名でプロジェクトチームを作り、何度も会合を持ち埼玉での1年7ヶ月の研修内容を作成しました。

いのちの電話の基本的な研修、「合宿研修（人間関係基礎訓練）」と「ロールプレイング」「電話実習」に、埼玉独自の「フィールドロールプレイング」を加えました。

研修は東京のリーダー7人に応援していただき、埼玉県の前専門家（埼玉で人間関係の仕事をしている若手の方）と組んで東京の研修方法を埼玉に移してもらいました。半年後の1991年4月には2期生の研修を開始、そこから埼玉県の前リーダーが総ての研修を行うようになりました。その方達で後に研修委員会を結成し、今日までの研修を修正しつつ実施してきたのです。

研修場所にも苦労をしました。蕨にセンターが出来るまで、浦和周辺8か所に分かれて研修。研修資料を8つの箱（通称お弁当箱）に分けて研修場所に配ったこと、コピー機がなく500円玉を山ほど手のひらに載せ、コンビニに通い、資料をつくったことも懐かしい思い出です。

1991年9月電話相談が始まってからの忙しさは、準備期間の比ではありませんでした。あれから20年、川の流れのように、一日も絶えることなく相談も研修も続いています。

（理事・元研修委員長 田中邦子）

＜ボランティア活動の財政と組織・運営＞

埼玉いのちの電話の設立を呼びかけた故坂野保吉氏が最初に苦労したのは、人集めとお金集めでした。何も無いところからのスタートに、まずは活動の拠点となる場所探しと、活動に必要な資金の工面が大きな課題でした。

お金集めには埼玉県内の有力企業の協力を仰ぐべく、坂野氏は様々なご縁を辿りながら経営者協会の代表者などを訪ね歩きました。1991年11月に発足した「埼玉いのちの電話を育てる会」の会長には、当時の協和埼玉銀行相談役故長島恭助氏が就任されました。そしてこの「育てる会」が、現在の後援会発足の基盤となりました。

ボランティア活動として、一般市民からのご寄付を仰ぎやすくするため、税金控除に繋がる社会福祉法人格の取得にも取り組み、設立5年後の1996年に、埼玉県より認可をいただきました。

蕨でスタートした埼玉いのちの電話の活動拠点は4年後に大宮へ、その11年後には移転を余儀なくされましたが、今回独自の建物を取得する運びとなりました。

これまで20年間、いのちの電話の主旨に賛同し、ご支援を続けてくださる方々によって、このボランティア活動は支えられてきております。財政的に厳しく危機に面したことも何度かあり、家賃等の支払いに憂慮している時にご寄付の振込みがあると、ホッとさせられました。

20年を経た今、厳しい社会情勢の影響など、今後財政面では益々困難な状況が予測されます。安心して活動を続けていくことが出来る財政基盤づくりのため、ご理解とご支援を寄せてくださる方々を更に広げていくような広報活動や、ボランティアとして出来る財源づくりなど、皆で知恵を出し合って取り組んでいきたいと願っています。

（理事・前事務局長 谷口尋子）

<<< 20年間のあゆみ >>>

「埼玉いのちの電話」が設立準備を始めたのは、「平成」がスタートした年でした！

年	社会の出来事	埼玉いのちの電話 主な出来事
1989	1月7日 昭和天皇崩御。皇太子明仁親王が即位 1月8日 新元号「平成」施行 4月1日 わが国初の大型間接税「消費税」導入	3月11日 浦和コミュニティセンターに有志が集まり、「埼玉いのちの電話を考える会」発足
1990	10月3日 東西ドイツが統一	3月 日本いのちの電話連盟より「埼玉いのちの電話」の名称使用許可承認 11月 蕨に事務所を移設し相談電話番号「4343」を予約
1991	5月9日 雲仙普賢岳噴火、大規模火砕流発生 12月22日 ソ連邦消滅、ロシアとなる	9月1日 電話相談事業開始（蕨市）10時～17時半
1992	6月15日 国連平和維持活動協力法案成立 自衛隊カンボジアに派遣	4月1日 電話相談時間を12時間（9時～21時）に変更 6月25日 日本いのちの電話連盟総会にて連盟加盟認可
1993	7月12日 北海道南西沖地震で奥尻島崩壊状態 6月7日 皇太子、雅子さまご成婚	12月4日 相談員全体交流会開催
1994	7月8日 向井千秋さん日本人女性初の宇宙飛行士	4月22日 「埼玉いのちの電話後援会」発足
1995	1月17日 阪神淡路大震災発生 3月20日 地下鉄サリン事件発生	4月29日 蕨から大宮へセンター移転 12月6日 「埼玉いのちの電話理事会」発足
1996	1月 若田光一さん宇宙へ	8月30日 埼玉県より社会福祉法人の認可を受ける 9月1日 設立5周年を祝う会開催
1997	11月17日 北海道拓殖銀行破綻 11月24日 山一証券自主廃業	12月1日 電話相談体制を24時間に変更
1998	7月25日 毒物カレー事件発生 ●自殺者が年間3万人を超える	11月24日 埼玉いのちの電話HP開設
1999	大手銀行の合併相次ぐ	7月10日 東日本広報担当者会議主催
2000	3月8日 日比谷線で脱線事故 5月3日 九州自動車道走行中の高速バス乗っ取り 8月18日 三宅島で火山噴火、島民ら避難	3月3日 子どものための専用相談電話「こどもライン」開設 11月11日 第25回自殺予防シンポジウム開催 11月12・13日 東日本研修担当者会議主催
2001	6月8日 大阪池田小児童殺傷事件 9月11日 ニューヨーク同時多発テロ	9月1日 10周年記念式典開催 10月19日 チャリティコンサート「タイムファイブ」開催 ●12月1～7日 フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」 （24時間）全国センターで実施 <以降毎年実施>
2002	5月31日～ 日韓共同開催サッカーW杯	1月 公開講演会開催（以降毎年実施）
2005	4月25日 J R 福知山線脱線事故	12月6日 川越分室オープンハウス
2006	6月20日 イラクから自衛隊撤収 6月 「自殺防止対策基本法」制定	1月6日 「川越分室」開設 転送による電話受信開始 5月1日 大宮センター移転
2007	3月25日 能登沖、中越沖で地震	●9月10日より毎月10日フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」（24時間）全国センターで実施 <以降毎月継続実施> 11月3～5日 第25回全国相談員研修会「埼玉大会」開催
2008	6月8日 秋葉原無差別殺傷事件	8月2日 相談員全体交流会「クミコさん囲む会」開催
2009	1月20日 米国オバマ大統領就任 8月30日 衆院選で民主党が大勝、政権交代	5月16日 チャリティコンサート「クミコ」開催
2010	6月13日 小惑星探査機はやぶさ帰還	4月3日 埼玉いのちの電話20周年記念事業 実行委員会発足
2011	3月11日 東日本大地震・福島原発事故 7月17日 女子サッカー世界W杯ドイツ大会にて 「なでしこジャパン」優勝	8月14日 大宮センター移転 8月27日 20周年記念式典開催 11月19日 東日本広報担当者会議主催（予定） 11月27日 チャリティコンサート「クミコ」開催（予定）

一人ひとりのいのちを大切にするために 東日本大震災から半年

心のケアと支援のひろがり

災害によって受ける心の痛手の回復にかかる時間は一人ひとりちがいます。地震・津波で被災された方々、福島原発事故により避難を余儀なくされた方々の心のケアのために、周りの人々は災害時のストレス反応を知り、接し方について配慮することが大切です。

埼玉県内に避難している約5,000人（8月県集計）が安心して生活できるように、身近な地域で支える様々な支援活動が行われています。その支援活動の一部と、災害ストレスへの反応・対処について紹介します。

災害と心のケアのために

災害の直後の反応

災害が発生した直後は、人々は驚き、頭が真っ白になったように感じる場合があります。人はあまりショックをうけると現実を否定したり拒否したりするものです。激しい恐怖でその場から逃げ出したり、おろおろしたり、あとで振り返ってなんでもあんなことをしたのだろうと思うこともあるかもしれませんが、災害時には当然の反応です。

災害の直後は、被災者自身も家族や周囲の人を助けるために自分をかえりみず救援活動を行います。事故が一段落すると、災害を体験した人同士が共に助け合い協力しあうようになります。

比較的短期の反応

安全な状況になってもしばらくの間、緊張状態は消えません。災害後の補償手続きなど経済面や仕事や学校などの場面で煩雑な事柄が重なって、疲労もピークに達します。

災害時の恐怖や不安の感情がよみがえる、考え方が混乱し判断しにくくなる、感情が不安定になって周りにあたってしまう、意欲や自信を失くし無力感に襲われる、自分が安全であることに罪悪感を持ってしまう、疎外感や孤独を感じるなど、それまで表面化しなかった心の問題が表れてきます。

また、頭痛、吐き気、息苦しさ、アレルギー症状など身体に変化が表れることも少なくありません。これらのことは、多くの場合は自然におさまってきます。しかし程度がひどく1か月以上も続くようなら専門家に相談することが必要です。

時間がたっても続く反応

災害の反応には個人差があります。特に、妊婦、小さい子供をもつ母親、子ども、高齢者、障害のある人、以前からストレスを抱えていた人では症状が出やすいことが知られています。他の人より不安や恐怖、身体症状などが強く出ても不思議ではありません。家族の中でも一人ひとり違うのです。

思い出したくない記憶や恐怖感が勝手によみがえる。また、思い出さないように関係あることを避けでしまい、社会生活に支障をきたしたり、感情が麻痺してしまう。神経が興奮した状態が続く。このような症状が1か月以上も続く場合には専門家に相談しましょう。薬やカウンセリングなどで、改善、治療するものなのです。抑うつ気分や不眠、疲労感などが、毎日2週間以上も続く場合はうつ病の治療を受けましょう。早めに受診するのが一番です。

災害ストレスに対処するには

被災体験を誰かに話し、きちんと受け止めてもらうことが大切です。話すことで自分の体験を整理し

新しいクオリティへ、新しいスピードで。



埼玉りそな銀行

RESONA

<http://www.resona-gr.co.jp/saitamaresona/>



埼玉県のマスコット「コバトン」

自分の感じた事が異常でないことが分かります。また、人と感情を共有し慰めあったり勇気づけあったりすることで、人とつながっている連帯感を感じるようになります。

避難所や慣れない環境で気持ちの休まらない日が続くなかでも、できるだけ規則正しい生活を心がけましょう。生活のリズムを取り戻すことで心も回復していきます。バランスのとれた栄養のある食事や、睡眠、休養が大切です。楽しみを見つけ、気分転換を図りましょう。笑いやユーモアはもっとも有効な薬です。うまく行かないことで自分を責めてしまうようになったら、それは自分だけで解決するにはあまりにも問題が大きすぎるのです。つらいことは、ひとりで抱え込まず助けを求めましょう。

以上、茨城県精神保健センター『災害と心のケアのために』より抜粋

いのちの電話の取り組み

東日本大震災いのちの電話フリーダイヤル

今回の震災は被害が甚大で、非常に広域にわたって地域社会そのものが機能を喪失してしまいました。そのため道路やライフラインなど基本的な生活のための復興が最優先されてきましたが、精神的なケアにも取り組むことが必要です。

いのちの電話では9月11日から震災フリーダイヤルを実施します。この電話は避難生活を送っている方々の心を支え、困難に立ち向かっている人々を支援することを目的とします。

震災フリーダイヤルの実施方法

開始日：2011年9月11日
 実施日：毎月10日を除く毎日
 時間：13時から20時まで
 受信地域：被災4県（岩手、宮城、福島、茨城）
 電話番号：0120-556-189

今、そのときの気持ちに寄り添って

被災された方からの電話は、経済的不安や心身の疲労に加え、将来の生活などの相談は増えていくものと予想されます。埼玉いのちの電話では、「災害のもたらす心的影響の理解」について相談員研修を行い、被災された方からの電話に寄り添えるよう努めています。

人に話すことで前を向けるようになる場合もあれば、思い出すから話したくないということもあります。支援者や周りの人は、無理に話させたり元気づけようとするのではなく、そのときの気持ちに耳を傾けることが大切です。

不安や不満を抱えながら大勢の人がそれぞれの立場で精一杯に頑張っています。今このときを共に生きる一人として、悲しみや苦しみ、そして希望を分かち合えるように、いのちの電話相談員は電話の前に座っています。

埼玉県の支援のひろがり

「支援」のいまとこれから

アリーナ(避難所)から地域(わたしたちのまち)へ

震災支援ネットワーク(SSN)埼玉は、さいたまスーパーアリーナに避難してこられた方々への支援を中心に、弁護士、司法書士、社会福祉士、臨床心理士やボランティアなどで結成し、連日様々な相談に応じてきました。6月16日から3日間、フリーダイヤル電話相談を実施しました。旧騎西高校に移ってからも定期的に訪問し支援活動を続けています。

7月24日には震災支援ネットワーク(SSN)埼玉、NPO法人ハンズオン埼玉、(社)情報環境コミュニケーションズの共催で「支援のいまとこれから…アリーナ(避難所)から地域(わたしのまち)へ」と題した交流会を実施するなど、これからも支援活動を共に考えていこうとしています。



いつまでも美しい街に暮らす「幸福感」ポラスの分譲住宅。

ポラスは、長く大切に使う住まいづくりを行っています。

DESIGN × TECHNOLOGY = POLUS

「デザイン=価値」×「技術=品質」— お客様に最高の満足を提供したいポラスの揺るがないコンセプト。

こだわりの家建てた「満足感」ポラスの注文住宅。




住まい価値創造企業

POLUS

ポラスグループ

www.polus.co.jp

ポラス

検索

ポラス(株) 埼玉県越谷市南越谷1-21-2
 TEL.049-969-9119
 ■宅建業国土交通大臣(10)第2401号
 ■建設業国土交通大臣許可(特-18)第8156号



個別避難者に具体的支援を 震災対策連絡協議会

震災対策協議会は、埼玉県弁護士会の呼びかけにより、個別避難者に対する法律、労働、生活、情報、不動産、福祉、心理など具体的支援を行っています。また、各専門家のネットワークにより総合的な支援が出来るように協議を重ねています。

6月には各団体の活動状況の報告を行いました。避難してこられた方々には、被災地での支援とは違う支援が必要とされていて、官民協働の支援事例として“ふじみ野市の取り組み”が紹介されました。

9月には官民連携協議会のモデル案を検討し、今後、大災害が起こった場合にも機能する体制づくりを目指しています。

被災地の復興支援相談窓口の設置

埼玉県は被災地の復興支援に関する相談にワンストップで対応するため、下記の相談窓口を設置しています。

- ※設置日 2011年7月14日(木)より
- ※設置場所 埼玉県危機管理防災部危機管理課
- ※相談時間及び電話番号
午前8:30～午後4:30(土日祝を除く)
048-830-8281
- ※主な相談内容
義援金/ボランティア/職員の派遣・物資などの救援活動/復興支援イベントの実施/公営・民間賃貸住宅の入居/就労支援について

ふじみ野市交流会「おあがんんしょ」

ふじみ野市避難者支援活動実行委員会

ふじみ野市には福島県を中心に145人(7月13日現在)が避難しています。毎月1回、避難者の皆さんが集い、交流する場を企画しています。避難者の受け入れ窓口である改革推進室や市民相談室、くらし安全課などと協議して実施しています。

具体的な交流会の取り組み内容は、市民活動団体の「協力アンケート」を基に実行委員会で企画します。毎回50人以上のボランティアの協力で、避難者の皆さんがひとつになって楽しめるように、次の5つの取り組みを中心に行っています。

- ①被災からの心の痛手の癒しの場「いろりっぱた」
- ②「お茶っこあがんんしょ」県人会の人たちと故郷の言葉で懐かしい話に盛り上がります。

- ③傾聴をしながら、「あし湯」を楽しんでもらいます。
- ④高校生と被災した子どもたちの遊びの場「わらしっこあつまれ」。大学生も歓談し交流しています。
- ⑤市民力を発揮して、福島の話語り、マジック体験、軽音楽・歌、健康体操、影絵、七夕飾りづくりなど、それぞれの団体の特色を活かして協力しています。

交流会参加のみなさんの声

- *被災から2か月近くになり、少しずつ気持ちも落ち着いてまいりました。ふる里を思い出し、涙が止まりませんでした。(5/8)
- *集まりに参加して今までのうっせきした気持ちが少し晴れたようになりました。原発という大きな時代のうねりの中の一証人として、しっかりと見てみたいと思います。(6/19)
- *全員で七夕飾りづくりをして、皆で市役所玄関に飾り楽しむことができました。(7/31)
- *先の見えない不安で淋しい気持ちが最近また強くなったように思います。皆様にお会いすることで、また元気になりました。(8/28)



復興支援イベント in さいたま新都心

「がんばろうふくしま つながろうさいたま」

8月21日、さいたま新都心けやき広場(さいたま市中央区)において、復興支援イベントが開催されました。会場では福島県の特産品、陶芸品、農産物をはじめ「なみえ焼きそば」などが販売されたほか、被災者や被災地出身者のネットワーク作りに向けた情報登録などが行われ、被災者の皆さんや出身者の再会、地域の皆さんとの交流の場となりました。

2009年度埼玉県経営品質賞(SQA)知事賞受賞

【弊社経営理念】

私たちは常に研鑽しお客様第一主義に徹したサービスに努め
地域一番店としての気概をもって明るい豊かな都市づくりに貢献します

～私たちは心の通う魅力ある地域コミュニティーづくりに取り組みます～

 **(株)大和不動産** さいたま市浦和区高砂1-2-1
エイベックタワー浦和オフィス西館1F
http://www.home.co.jp/ TEL:048(824)1161



クミコチャリティコンサート

2009年5月のクミコチャリティコンサートには多くの方にお越しいただきありがとうございました。今回は、埼玉いのちの電話20周年記念事業の一つとして再度クミコさんをお願いしました。

クミコさんの母校、春日部女子高等学校音楽部とのコラボレーションも企画しています。多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

春日部女子高等学校音楽部のプロフィール

2009年、埼玉合唱コンクールで銀賞、埼玉ボーカルアンサンブルコンテストで金賞・教育長賞。東京アンサンブルコンテストで金賞など数多くの賞を受賞。

クミコ いのちを歌うー

日時：2011年11月27日(日) 16:00開演
 場所：大宮ソニックシティ・大ホール
 チケット料金(全席指定)：
 1階席 4,000円 2階席 3,000円
 問い合わせ：埼玉いのちの電話事務局
 048-645-4322



🎬 チャリティ映画会

第17回

去る2011年3月19日に開催予定していましたが第16回チャリティ映画会は、東日本大震災の影響により中止いたしました。楽しみにされていた方には大変ご迷惑をお掛けいたしました事お詫び申し上げます。

中止となった映画をぜひ観たいとの声を多くいただきましたので、本年度の映画会(2012/3/20火曜・祝日)で『アンダンテ』を上映いたします。また、パザーも同時開催しますので、ご家族やお友達をお誘いのうえ映画鑑賞と買物をお楽しみください。

なお、第16回のチケットをお持ちの方は、そのままご利用いただけます。不明な点は事務局までお問い合わせください。

チャリティ映画会実行委員会



アンダンテ ~稲の旋律~

母親の夢であった音楽の道を歩む主人公が、音楽社会の競争の激しさに自信を失い、やがて自分自身をも見失って、とうとう家に引きこもるように…そして、めぐり逢った人々とのつながりの中で、失われた心を取り戻していきます。

日時：2012年3月20日(火・祝日)
 第1回10:30 ~ 第2回14:00 ~
 会場：大宮ソニック・小ホール
 チケット料金：1,000円
 原作者 旭爪あかねさん舞台挨拶
 第1回上映後 第2回上映前

医療法人社団 群羊会

<http://www.2n.biglobe.ne.jp/~fukuin>

耳鼻咽喉科 **福音診療所**

〒364-0023 埼玉県北本市下石戸下1549-51
 TEL 048-592-2862
 FAX 048-593-5067



内科・小児科 **南福音診療所**

〒364-0021 埼玉県北本市北本宿161-4
 TEL 048-591-7191
 FAX 048-591-9668

愛と献身 ふれあい 診療

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP



クマったときは相棒を。



タフな安心を、あなたに。

いろんな保険を、ひとつのシリーズで。
 わかりやすくて頼りになる保険です。

あゆみ

- 2011年
- 3月 1日 自殺対策キャンペーン（JR浦和駅改札外）
 7日 市町村職員対象研修担当
 （ソニック市民ホール）
 10日 フリーダイヤル
 24日 定例理事会・評議員会
 28日～4月9日 発信地域限定（岩手・宮城・福島・茨城）
 フリーダイヤルの実施
- 4月 9日 22期生開講式
 10日 フリーダイヤル
 16日 22期生講義「私のボランティア」
 こどもライン研修
- 5月 10日 フリーダイヤル
 14日 21期生講義「電話相談理論Ⅰ」
 27日 定例理事会・評議員会
 30日 川越市自殺対策連絡協議会
- 6月 3日 日本いのちの電話連盟総会
 4日 21期生講義「電話相談理論Ⅱ」
 6日 定例後援会理事会（埼玉会館）
 7日 川越ロータリークラブ
 （埼玉いのちの電話活動）
 10日 フリーダイヤル
 14日 「震災時の電話相談のための研修」
 18日 理論講座「発達障害」
 こどもライン研修
 20日 県央地域自殺対策連絡協議会
 29日 「震災時の電話相談のための研修」
- 7月 9日 22期生講義「青年期」
 10日 フリーダイヤル
 14日～15日 全国事務局長会議
 15日 埼玉県自殺対策連絡協議会
- 8月 10日 フリーダイヤル
 14日 埼玉いのちの電話事務所移転
 27日 埼玉いのちの電話20周年記念式典

ひとりで悩まないで、こころの苦しみを、お話しください。
自殺予防 いのちの電話
0120-738-556
 毎月10日（フリーダイヤル）
 8:00～翌日8:00（24時間・無料です）

「埼玉いのちの電話」
 応援チャリティコンサート

日時：11月12日（土）
 開場18時 開演18時30分

会場：入間市民会館

出演者：若林 暢 & アルバート・ロト
 （バイオリニスト）（ピアニスト）

入場料：1,500円

主催：朝日新聞・西部朝日西武支部

問合せ先：ASA飯能中央 電話：042-972-4701

公開講演会 森のイスキア
 佐藤初女さんを招いて

日時：2012年1月21日（土）
 午後2時開演

場所：大宮ソニックシティ 小ホール
 12月発行予定の広報誌で詳細をご案内いたします。

編集後記

埼玉いのちの電話は9月1日で開局20年を迎えました。たくさんの方に支えていただき、多くのボランティアが参加してきました。

今回の広報誌でそのことを少しでもお伝えしたいと企画しました。埼玉いのちの電話ホームページに投稿欄がありますので、ご意見・ご感想をいただけますと嬉しく思います。(W)

ALPHARD

ただ誇らかに
 眺める、贅沢。

PHOTO: 350S "Cパッケージ"
 (7人乗り・2WD)

埼玉トヨペット お客さま
 相談室 お車のことならなんでもお気軽に ☎0120-319231
本社/さいたま市中央区上落合2-2-1 http://www.saitama-toyopet.co.jp 定休日:毎週月曜日



大切ないのちを守りたい

責任の 武州ガス

川越市田町32-12
 TEL (049) 241-9000

http://www.bushugas.co.jp